

いま、 必要なのは、 免疫力。

森永乳業は、長年にわたって免疫機能
を高める研究に取り組んでいます。

初乳のチカラ

ラクトフェリン



母乳、特に生まれたての赤ちゃんを育てる初乳の中に多く含まれる感染防御成分。腸内の有害菌の増殖を抑制し、免疫機能を高める研究成果が報告されています。森永乳業は牛乳からの抽出に成功し国際的に各国で特許を取得。世界最大規模のメーカーとして生産・研究を続けています。

ヒトから生まれた

ビフィズス菌 BB536



赤ちゃんの腸内細菌の大多数を占めるビフィズス菌。その中でも森永乳業のBB536は、健康な乳児から発見された「ヒト由来」の菌。生きたまま腸まで届き、免疫力を高める研究成果が報告されています。森永乳業が日本で初めてビフィズス菌の商品化に成功し、30ヶ国以上で利用されています。



食品基盤研究所
生物機能研究部 研究員



いま注目される、森永乳業の免疫機能を高める研究。



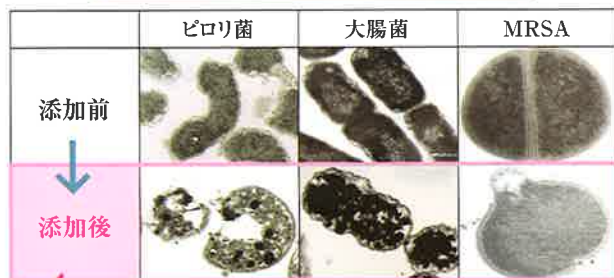
ラクトフェリン

さらに強いラクトフェリシン®を生成

胃の消化酵素によって分解され、ラクトフェリンより強い抗菌性を示すラクトフェリシン®を生成します。

ラクトフェリシン®は森永乳業の研究グループが発見し、名付けました。

ラクトフェリシン®による抗菌作用



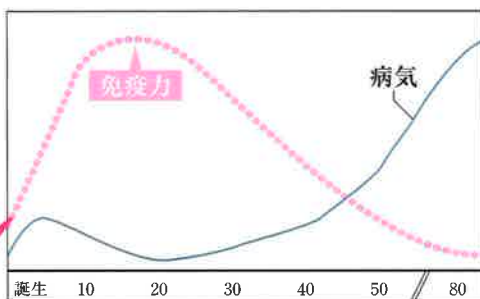
当社研究データより

ラクトフェリシン®添加後に各細胞が破壊されているのがわかる。

ナチュラルキラー

NK細胞が元気に

動物にラクトフェリンを与えると、免疫システムの中でも特に重要な役割をもつNK細胞の数が増えたり、その活性が高くなりました。NK細胞は、がん細胞やウイルスに感染した細胞を発見し、破壊します。



• 免疫力は加齢と共に落ちる。

• NK細胞の活性が低い人は、病気にかかりやすいといわれる。

ラクトフェリンは、赤ちゃんだけでなく、あなたにも大切です。

母乳や牛乳に多く含まれるタンパク質ラクトフェリン。細菌やウイルスから赤ちゃんを守ると考えられています。母乳以外にも涙、鼻汁、だ液にも多く含まれ、目、鼻、口など病原菌が侵入しやすい場所に多く存在します。また感染が起こった際には、病原菌と戦う白血球からラクトフェリンが多く分泌されます。

ビフィズス菌BB536

インフルエンザ予防

65歳以上の高齢者27名に、6週間にわたってビフィズス菌BB536の菌末(1000億/日)を飲んでいただき、3週目にはインフルエンザワクチンの接種をしていただきました。以降、14週間にわたり、BB536を飲んでいるグループと飲まないグループにわけ、インフルエンザの発症について比較しました。



出典：難波ら、日本農芸化学会2006年度大会発表

O157対策

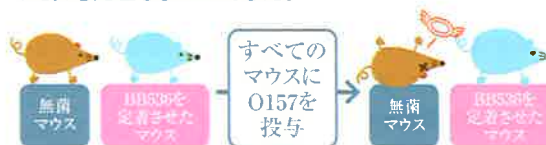
ビフィズス菌BB536には、病原性大腸菌O157の感染を予防する働きがあることが、動物を使った実験で実証されました。



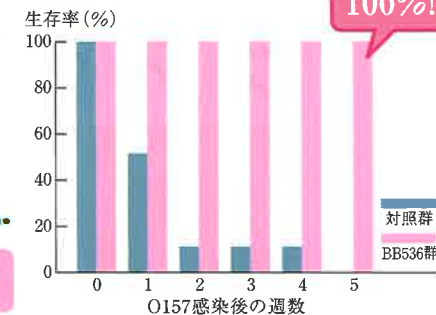
病原性大腸菌O157

無菌マウスの実験結果

致死量の病原性大腸菌O157を投与すると32日目までにすべてのマウスが死亡したのに対し、あらかじめビフィズス菌BB536を定着させたマウスは試験期間中に1匹も死亡しませんでした。



※無菌動物を使った実験ですので、人と同じ作用があるとは限りません。



出典：難波ら、第3回腸内細菌学会(1999)発表